

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・単元テストの知識・技能の観点について、得点率を平均80%以上にする。
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・さいたま市学習状況調査【生活習慣に関する調査】における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の質問項目で肯定的な回答の割合を令和2年度の値より2pt向上させる。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・『よい授業』アンケート④「児童生徒の活動」4「今日の学習のまとめを、自分たちで考える」の質問項目で平均値を0.2pt向上させる。

具体的な手立て

- ①真の学力を育成するために、指導方法の工夫・改善を図り、授業力を高める。算数科では、計算の基礎となるかけ算九九の確実な習得を目指し、校長が2学年全児童の定着確認テストを行う。
- ②各教科等において、ねらいや指導すべき内容、身に付けることを明確にした授業を実施する。指導訪問では、指導内容を全教員に配付、共通理解を図る。「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」6つの学習プロセスについて理解し、深い学びを導く学習過程による学習活動を展開できるようにする。
- ③タブレットを活用し、思考の可視化や考えの共有、習熟学習及び学習の記録を行う。オクリンクを算数の練り上げや作文の構成、図工の鑑賞活動等に活用する。学習履歴を活用しながらドリルパークに取り組み、基礎学力の向上に努める。
- ④スクールアシスタントを活用し、個に応じたきめ細やかな指導を心がける。
- ⑤特別支援教育及び交流教育の充実を図り、ユニバーサルデザインの考えを全校に広める。
- ⑥校内研修及び学校課題研修を充実させる。学校課題研修では、各学年に1人、計7人の外部講師を招聘し、きめ細やかに御指導いただくと共に、研修を深められるようにする。

結果

- 自校テストの知識・技能の観点では、全ての学年で得点率80%を超えることができた。
- 今年度は、さいたま市学習状況調査で同一の質問項目が無かったため、校内で別途アンケートを行い、昨年度の結果と比較した。その結果、1.6ptの向上が見られた。
- よい授業アンケート④の4の質問項目では、1学期より平均値が3pt以上という高い得点であったものの、1学期、2学期、3学期の3回の調査結果が同一であり、数値の変容は見られなかった。

今年度の振り返り・次年度に向けて

具体的な手立てに関しては、全て実施することができた。また、知識・技能の観点でも目標を達成することができた。「思考力、判断力、表現力」及び「主体的に学習に取り組む態度」の項目では、目標とする値には届かなかったものの、アンケートではどちらも8割以上が肯定的な回答をしている。

次年度は、「思考力、判断力、表現力」および「主体的に学習に取り組む態度」を育む授業モデルや手立てを作成し、年度当初に共通理解できるようにする。また、学期ごとに各学級の課題を把握・分析することによって改善を図り、目標とする値を確実に達成できるようにしていく。